

# ふれあいのつばさ



- 『 備えあれば憂い無し 』
- 『 回復期リハビリテーション病棟のご紹介 』
- 『 防災訓練実施のご報告 』
- 『 渚野辺総合病院 コーラス隊結成！ 』
- 『 院内における幸福度・Presenteeism(疾病就労)の取り組み 』



## ～備えあれば憂い無し～

台風一過、夏の暑くて湿度が高く、汗だくの日々から、少し凌ぎやすい季節となりました。天変地異とも言える最近の様々な気候は、地球の温暖化が進んでいる影響と言われていますが、50年後、100年後の我々の次の時代の気候はどんな様相を帯びてくるのか、心配にさえなってきます。

台風と言えば、関東を直撃した台風15号でしたが、当院では、病院横の立木が倒れるなどの被害があったとはいえ、既に修理していた外壁のタイルは剥がれることもなく、けが人もいなかったことは不幸中の幸いでした。“災害は忘れた頃にやってくる”とは昔から言い伝えられた言葉ですが、早めの修理を行っていて良かったと思うのは、私だけではないと思います。「備えあれば憂い無し」とは良くいったもので、今後も、病院内、院外を含めて、躯体やその周囲にも気を配り、患者さんにご満足して頂けるような病院となるよう邁進していきたいと思っております。



# 回復期リハビリテーション病棟のご紹介

脳血管障害や骨折など、急性期で治療を受けて病状が安定し始めた発症から1~2ヶ月後の状態を回復期といいます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行なうことで低下した能力を再び獲得することを目的とした病棟が、回復期リハビリテーション病棟です。

当病棟では、障害があっても希望する生活が実現できるよう、訓練室の訓練だけではなく、生活の場全てを訓練の場ととらえ、医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等が協働し、機能の回復や日常生活動作で必要な動作の改善を図り、生活の質向上に取り組んでいます。

365日体制で、毎日途切れることなくリハビリテーションを行っています。

訓練により獲得した機能を生活の場で活かすことができるよう、食事、排せつ、入浴、移動、更衣など全ての生活援助に連動して介助を行っています。また、退院後の生活でも活かせるように自宅の様子を確認し、家族への介護指導にも力を入れています。

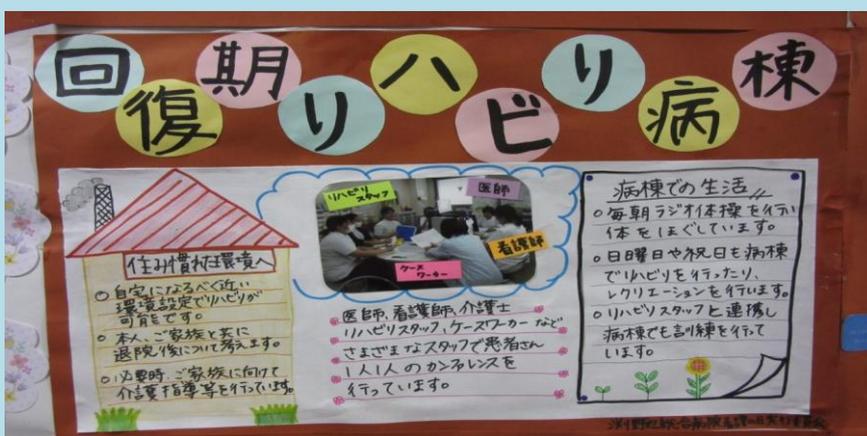
希望する生活の実現のために、チーム医療を推進します。



食事はベッドから離れ、ラウンジで取ります



毎朝体操を行っています



季節を意識した飾り付けを患者さんと一緒に作っています



# 防災訓練実施のご報告

2019年7月23日（火）に、当院にて、日中に6B病棟の倉庫から出火した想定のもと訓練を行いました。終了後の訓練の振り返りや、各部署からの報告内容の共有以外にも、防災設備の管理企業担当者から消火器及び屋内消火栓の取扱方法の説明を受けるなどと、充実した訓練となりました。

防災訓練は、実際の災害時における円滑な消火活動、避難誘導の際に大変役立つ経験だと改めて感じました。今後も防災訓練を実施し、万が一の災害時の備えになればと思います。



## 湊野辺総合病院 コーラス隊結成！

この度、当院の接遇委員会発案のもと、『湊野辺総合病院 コーラス隊』を結成致しました。

現在は、12月7日（土）開催予定のクリスマスイベントにて、患者さんやご家族の方、地域の方へ素敵な歌声を届けることを目標に練習に励んでいます。当日はボランティアの方のハンドベルの演奏もごさいますので、少し早めのクリスマスプレゼントとしてお届けできればと思います。開催日時が正式に決まりましたら、院内に掲示するとともに、当院ホームページでお知らせいたしますので、是非イベントにお越しください！





# 院内における 幸福度・Presenteeism(疾病就労)の取り組み



8月末より、まずは淵野辺総合病院の全職員の幸福度診断を行いました。「健康経営」という概念の元、個人の幸福度を測定することで、この淵野辺総合病院に勤めている職員が「心身ともに、健康で生きいきと働くことができる」ことを目標として行った診断です。当病院の質（イメージ）の向上と、受診患者さんの増加などとともに、職員の離職率の低下と優秀な職員の確保にも繋がると考えています。

10月には、プレゼンティーズム（Presenteeism；疾病就労）についての調査が始まります。これは、体調が思わしくない状態で就労することによって、患者さんに対する対応や院内の業務の効率が低下することに対する調査で、チームで解決・支援する必要が出てきます。淵野辺総合病院に集う方々が、心身共に健康であることが、患者さん達にフィードバックされて、安全で、良質な医療を初めて提供することが出来ると確信しています。

## ◆ 編集後記 ◆

関東地方を直撃した台風15号は風と雨がひどく夜中眠れなかった方が多かったと思います。我が家では昨年直撃した台風で倉庫が倒れてしまったため、今回は事前に転倒防止対策をしておりましたが、それでも不安な気持ちにさせるほどの暴風雨でした。

様々な被害状況が報道されていますが、中でも停電は復旧が遅れ生活に重大な影響を与えています。入院施設を有する医療機関は非常用発電装置を設置していると思いますが、その稼働時間は限られており今回のように長期間続くと医療機関としての機能が存続できなくなると思いました。改めてこのような災害が発生した場合の対策も練っておかなければと痛感しています。

今回の台風で被害に遭われた皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

（広報委員 原田）



〒252-0206 相模原市中央区淵野辺 3-2-8

JR淵野辺駅(北口)下車徒歩5分(駐車場あり)

- \* 小田急線ご利用の方は町田駅で横浜線にお乗り換え
- \* 京王線ご利用の方は橋本駅で横浜線にお乗り換え
- ※快速は止まりませんので、各駅停車にお乗りください

### ☎ 連絡先 ☎

淵野辺総合病院 (代表) (042)754-2222